



## La Modeの旅



Photo: National Taichung Theater

「La Mode」はイタリア、台湾、東京の3カ国ツアーを終え、一旦幕を閉じた。構想から3年、多国籍のドリームチームによるスリリングな舞台を実現するにあたり、作品に携わってくださった、そしてご来場いただいた皆様にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

こけら落とし公演となった台中国家歌劇院では、館の設計者である伊東豊雄設計事務所と安東陽子氏による舞台デザイン「カテナイド」がダンサー、ピアニスト、観客もを包み込み、<うち>と<そと>の境界をなくすという作品のコンセプトと館のコンセプトが響きあう幸福な瞬間を目のあたりにした。これから船出していく劇場の祝祭の一端を担えたことを光栄に思います。観客もまた舞台の一部とし、場や観客のエネルギーを時に危険なまでに受け止めるこの作品は、国を越え、場所を変えることでまた変化していく。今後、数カ国でのツアーも予定されています。

[Movie] [La Mode](#) (Festival Transart、イタリア)

[Press] [「台中国家歌劇院 伊東豊雄設計で台湾に完成」](#) (日経新聞、2016年10月11日)

[GA Japan 143 特集「\[臺中國家歌劇院 盛大開幕\]」](#) (2016年11月号)

## HOME sweet HOME



Photo: Naoto Kita

岩槻駅の近く、築100年ほどの古民家に住む一人の女性の半生、妄想、夢、記憶を盗み見る、という想定で進むこの作品もやはり、3年間の準備期間を経て完成した。その間恐山、実家のある熊野などで、家、家族について大勢の方の物語を聞く有意義なプロセスだった。

ダンサー湯浅永麻さん、テクニカルディレクター遠藤豊さんとの共同作業の過程から、ミクロの家（HOME）は我々の体だ、というアイデアにも行き着いた。

夏から始まったさいたまトリエンナーレでの同パフォーマンスの上演は、引き続き毎週土曜日、12月10日まで1日2回公演で行われる。予約でいっぱいになっている日もありますのでご来場の際はご予約の上、お出かけください。

11月5日、12日、19日、26日、12月3日、10日

①15:00～15:40 ②18:00～18:40

【申込方法】

メール (event@saitamatriennale.jp) またはfax (048-824-5361) にて件名を「向井山朋子 HOME」とし、

①お名前 ②当日連絡が取れるご連絡先 ③ご希望の日時をお知らせ下さい。

[Movie] [HOME](#)

[詳細] [さいたまトリエンナーレ](#)

Tar and Feathers、パリ・オペラ座で再演



世界中のダンス人から尊敬を集める振付家、イリ・キリアンと2005年に初めて協働したダンス作品「Tar and Feathers」が、ついに今冬パリ・オペラ座ガルニエ宮にて連続公演される。

中世の処罰刑であるタールの羽をタイトルにもつこの作品は、オランダ、オスロ、ボストンのダンス・カンパニーとの競演を経て、世界で最も美しい劇場の一つ、パリ・オペラ座へ。白と黒の舞台にしつえられた特注の長足と傾いた鍵盤を持つピアノで、モーツァルトの協奏曲からの断片を紡いだ自作を演奏する。ダンサーの動きによって即興される音楽とダンスが時間を律し、空間を支配する。

この罪と罰、醜と美、男と女の関係が極限まで交錯するこの作品のパリオペラ座のダンサーによる再演が2016年の仕事納めとなりそうだ。

11月29日、12月1日、3日、5日、6日、8日、10日、11日、13日、14日、16日、17日、18日、20日、21日、23日、24日、27日、28日、29日、31日

[Movie][Tar and Feathers](#)

[詳細][パリ・オペラ座](#)

Tomoko Mukaiyama / 向井山朋子



[Instagram](#)

[forward this email to a friend](#) [Unsubscribe.](#)

Tomoko Mukaiyama Foundation  
P.O. Box 16941  
1001 RK Amsterdam, The Netherlands  
contact management: [info@tomoko.nl](mailto:info@tomoko.nl)  
[www.tomoko.nl](http://www.tomoko.nl) | [www.wasted.nl](http://www.wasted.nl)